

総務省消防庁救急蘇生統計の情報を利用した臨床研究について

虎の門病院救急科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、個人を識別できない形で総務省消防庁から提供を受けた院外心停止患者の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2005年1月1日 ～ 2017年12月31日の間に、院外心停止のために救急病院に救急搬送された方

【研究課題名】

消防庁救急蘇生統計データベースを用いた院外心停止患者の転帰に寄与する因子の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究は、我が国において救急搬送を要した全ての院外心停止患者の情報を記録した大規模な行政データである消防庁救急蘇生統計を用いて、院外心停止患者の転帰に寄与する因子を明らかにすることを目的とします。

《研究に至る背景》

わが国では、毎年約12万人の院外心停止患者が救急搬送されており、その治療成績は極めて不良（1ヶ月後の生存率は約10%）で、治療成績の向上には臨床試験によるエビデンスの蓄積が不可欠です。わが国では、救急搬送を要した全ての院外心肺停止患者の、年齢・性別などの基本情報、病院前救護に関する情報、転帰に関する情報が消防庁によって記録されています。この行政によって確実に収集されたビッグデータを用いることで、従来の各施設で行われてきた小規模研究と比べて、データの偏りを排したより質の高い研究が可能になり、本研究結果は院外心停止患者の転帰の改善に貢献することが期待されます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021年6月21日 ～ 2026年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

研究で扱うデータは、お名前、ご住所などの特定の個人を識別することができないような

状態（匿名化）で総務省消防庁より提供を受けます。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できない形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院救急科、福田龍将のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

本研究は総務省消防庁から提供された匿名化データのみを用いた研究です。

診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

総務省消防庁から提供された匿名化データ：

発生年月日、年齢、性別、心停止の目撃、バイスタンダーによる救命処置、司令センターによる蘇生法の口頭指導、初期心電図波形、病院前救護における二次救命処置、医師の関与、心停止の原因、救急活動に関する時間（覚知、現着、病着、各救命処置実施時間）、病院前の心拍再開、1ヶ月後の生存、1ヶ月後の神経学的転帰

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 救急科 ・ 福田龍将

【虎の門病院における研究責任者】

救急科 ・ 福田龍将

【利用する者の範囲】

虎の門病院における単独研究

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関して資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、下記相談窓口までご連絡ください。

なお、本研究は匿名化された行政データのみを用いて行う研究で、個々の研究対象者から同意を得ることはできず、倫理指針では個別の同意が必要な研究の対象外となっています。ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることをご希望されない場合も、個人の識別が不可能で、研究対象から除外することはできません。

本研究は、わが国の救急蘇生の発展のために行われる社会的な重要性かつ公益性の高い研究であり、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【相談窓口】

虎の門病院 救急科 ・ 福田龍将

電話 03-3588-1111(代表)